

多職種で支える終末期ケア

－医療・福祉連携の実践と研究－

日本福祉大学終末期ケア研究会は、1998年から多職種で支える終末期ケアの研究と実践に取り組んでまいりました。質の高い終末期ケアを提供するためには、実践と研究の融和が必要になります。

このようなことから、今回の研究会は、行政、医療機関、高齢者施設、現任教育における終末期ケアの実践と研究について、多職種連携の視点で考えます。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：2018年6月23日（土）13:30～16:30（受付：13:00）
6月24日（日）9:30～16:30（受付：9:00）

場所：日本福祉大学名古屋キャンパス 北館
（名古屋市中区千代田5-22-35）

参加費：無料

タイムスケジュール

6月23日（土）＜講演＞

講演 1 多職種で支える終末期ケアの実践研究 / 日仏比較から考える意思決定支援
篠田道子
（日本福祉大学大学院 医療・福祉 マネジメント研究科長）

講演 2 医療機関と行政が一体となって取り組む「在宅看取り」の推進
-常滑市と常滑市民病院の医療・福祉連携-
久米淳子
（常滑市民病院看護局長）
渡邊和子
（常滑市民病院訪問看護ステーション「きずな」所長）
原田博子
（常滑市役所福祉部高齢介護課看護師長）

6月24日（日）〈分科会〉

第1分科会

「保証人制度に頼らない在宅看取り、死後の取り組み」

実践報告：半田市の地域包括ケアシステムにおける在宅看取り

對馬清美
(半田市社会福祉協議会、半田市包括支援センター副センター長)

研究報告：保証人問題の現状と課題—これまでの研究活動からみてきたこと

林祐介
(同朋大学社会福祉学部専任講師)

ファシリテーター

杉本浩章
(福山平成大学福祉健康学部准教授)

第2分科会

「高齢者施設での終末期ケア」

実践報告：医療療養病床における看取りケア体制とプロセス評価

榊原麻子
(医療法人豊田会高浜訪問看護ステーション 所長)

研究報告：特別養護老人ホーム入所者の終末期に関わる多職種チームケア—よりよい終末期ケアを目指して—

田中克恵
(金城大学社会福祉学部教授)

ファシリテーター

篠田道子
(日本福祉大学大学院医療・福祉マネジメント研究科長)

第3分科会

「終末期ケアにおける多職種連携教育」

実践報告：多職種参加型で行う事例検討会とカンファレンスの実践

上山崎悦代
(兵庫医療大学共通教育センター講師)

研究報告：多施設・多職種グループによるディスカッションの可能性

原沢優子
(名古屋市立看護大学准教授)

ファシリテーター

宇佐美千鶴
(ケアマネジメントセンターラック管理者)

パネルディスカッション

3つの分科会のまとめをディスカッション形式で行います。

科研費

本研究会は、科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤（B）「終末期ケアマネジメントと多職種チームの意思決定に関する研究（課題番号：16H03719）」（研究代表者：篠田道子）の助成を受けて開催しています。

※当日は、新著「多職種で支える終末期ケア—医療・福祉連携の実践と研究—」（中央法規）の販売コーナーがあります。
※本企画は、日本福祉大学大学院福祉サービスマネジメント特講Ⅱ（申請に基づく単位認定科目）の対象となります。

<申し込み方法>

○webでの申し込み

日本福祉大学ホームページ・イベント情報の案内にあります申し込みフォームより、お申込みください。

もしくは、終末期ケア研究会 s-care@ml.n-fukushi.ac.jpまで申し込みフォームの送信依頼メールをお送りください。折り返しフォームをお送りいたします。

○FAXでの申し込み

2018年度終末期ケア公開研究会と記載いただき、参加日、参加分科会、お名前、e-mailアドレス、所属先、職種、所属先住所、連絡先電話番号を必ず明記いただき、問合せ先FAXまで送信ください。

○なお、定員を超えた場合、申し込みをお断りする場合がございます。あらかじめご了承ください。

<問い合わせ先>

日本福祉大学終末期ケア研究会 担当：田中 s-care@ml.n-fukushi.ac.jp
tel 0569-87-2324 FAX 0569-87-3973

